

はよ、一緒にサッカーしたい!

うちの長男「珀久(はく)」はもうすぐ1歳3ヶ月になります。1歳になる前から歩き始め、今はトトと小走りに動き回っています。出産予定日が1月2日だったこともあり、年末年始は何時でも車で出動できるよう、お酒は控えていました。無事誕生後は僕も育休を2カ月取って子育て初体験! 特に出産退院後すぐから3時間おきのミルクは、僕も深夜にしっかり手伝えたので育休できて助かりました。実兄の子がひとつ上にいるので、色々アドバイスもらいながら楽しく子育てしています。実は子どもができるまでと判明してから自宅を購入し、その際に新しい家具やソファを揃えたんですが、すぐ息子



のミルク吐き戻し跡が全面にたっぷり刻まれる結果に…(笑) みんなによく言われるんですが、うちの珀久はマイペースでんびりした性格なようです。兄夫婦から「生まれたら親は寝不足になるよ」と聞かされ覚悟していましたが、ちょっと眠そうにすると、おしゃぶりを口に横にして布団を掛けたら、抱っこしなくてもスッと寝て朝までOK。ギャーギャー泣き止まない事もほとんど無いので、手が掛から

ず楽させてもらっています。保育園の初日も全く泣かずにスッと保育士さんの手に預けたし、ひとり遊びも熱中すると存在感ないぐらい、じっと静かにしているらしいです。僕自身4~5歳からサッカーを始めたので、我が子にもやっぱりサッカーして欲しくて。珀久が玩具で遊んでると僕は横から「これで遊び〜」と言って、サッカーボールとすり替えたりしています。家の中にはいつでも身近に触れるよう

一歳のお誕生日に「一升餅」のお祝いと「遊び取り」のしきたりをしました。遊び取りは将来を占う儀式で、職業別カードを用意するのが一般的みたいですが、僕はサッカーのポジションカードにしたんです。自分の現役時代はキーパーだったので、できたら他のアクティブなポジションになってくれたらいいなあ〜って期待してたんですが…結果は…僕と同じキーパーを選び取ってくれました! さすがは親子! みんなで大笑いでした。



にあちこちにボールを転がしてあります(笑) 息子ができて以前の生活と全然違うのは、毎日の帰宅時間が断然早くなったことです! 珀久は早い時間に寝ちゃうので、ちょっとでも長く一緒に居たいですね。将来の楽しみがたくさん増えて、一緒にサッカーできたらいいなあ〜と、今から待ち遠しいです。(リフォーム営業/真浦)

さくら祭り 2025
4.6(日) 10~15時
さくら星田本店
入場無料! / 雨天決行!

屋根外壁塗装相談
第2、第4 土日開催
① 10:00~11:00
② 12:00~13:00
③ 14:00~15:00
ご来場者限定!
足場半額!!
星田本店にて
★完全予約制★

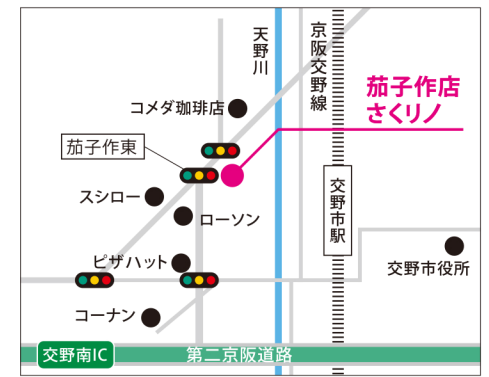
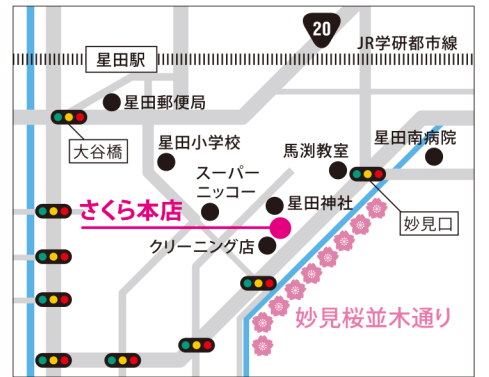
リフォーム補助金相談会
第1、第3 土日開催
① 11:00~12:00
② 13:00~14:00
2025年度
新情報!!
星田本店にて
各回3組限定 ★完全予約制★

さくらの情報、ご連絡はこちらから

さくら ホームページ

LINE ※営業時間外や定休日にはご連絡することができません。

さくら INSTAGRAM



株式会社 **さくら**
星田本店
〒576-0016 大阪府交野市星田
2丁目25-1 Tel. 072-891-4501

リノベーション&大型リフォーム専門店 **さくりノ** SAKU RENO
茄子作店 さくりノ
〒573-0082 大阪府枚方市茄子作東町
6-36 Tel. 0120-390-155

お家困った(株)さくらに電話

0120-390-155

ありがとう、50周年 これからも。

S A K U R A N E W S
さくら通信

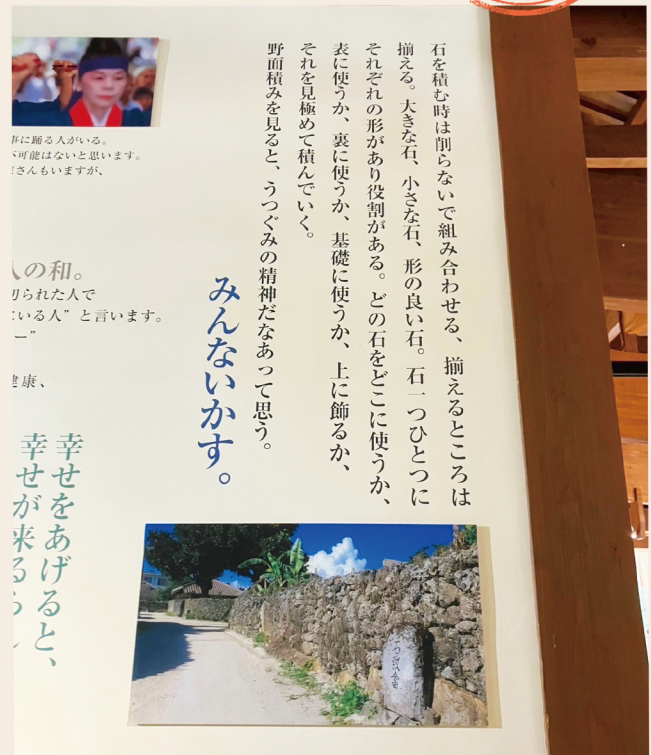
4
2025
Vol.100

春の訪れを感じる今日この頃、朝夕はまだ少し肌寒さが残りますが、日中は暖かさが増してきましたね。先日、お客様のお庭で咲いていた彼岸桜の美しさに感動しました。春の新たな始まりを感じる素敵な季節です。

株式会社さくらの吉村でございます。ご無沙汰しておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今号は気が付けば、「さくら通信」100号を迎えることとなりました! 2005年に創刊した当時、実はA4用紙1枚の片面に文章のみを綴ったシンプルなお手紙でした。文字だけで読みやすく、お客様から「吉村さん、イラストも入れたほうがいいよ」とアドバイスいただいたことを今でも覚えています。とはいえ、当初から変わらず「おうちのお困りごとを解決したい!」という想いで記事を作り続けてきました。この思いこそが、現在の“おうち困ったさくら”の原点となっています。「いつも楽しみにしていますよ」と、お客様から温かいお言葉をいただくたびに励まされ、ここまで続けることができ、本当にありがとうございます。そこで、これまでの20年を振り返り、さくら通信100号を記念しての簡単なアンケートを同封しております。プレゼントも企画しておりますので、これまでお読み頂いている皆さまに、一言でもお答え頂ければ幸いです。

さて、4月6日は恒例のさくら祭りです。今年は50周年の時期にもあたり「伝統企画を続けていきたい!」と、実行委員長の上田をはじめ、さくらスタッフ一同がひとつになり、気合いを入れて当日楽しめる企画を準備しております。同封しました特典付きのチラシをお持ちの上、ご家族二世三代お揃いで遊びにいらしてください。



石を積む時は削らないで組み合わせる、揃えるところは揃える。大きな石、小さな石、形の良い石。石一つひとつにそれぞれの形があり役割がある。どの石をどこに使うか、表に使うか、裏に使うか、基礎に使うか、上に飾るか、それを見極めて積んでいく。
野面積みを見ると、うつぐみの精神だなあって思う。
みんないかす。

幸せをあげると、幸せが来る。

最後になりますが、私が組織運営の中で大切にしている考え方を、沖縄・竹富島の住民の言葉からご紹介します。

【みんなをいかす。うつぐみの精神】石積みの擁壁は、積む石ひとつひとつにそれぞれの形があり、役割がある。どの石をどこに使うかを見極めながら積み上げていく。

私たちも、お客様や地域の未来を共に描きながら個性豊かなスタッフ一人ひとりの力を生かし、地域に根ざした活動を進めていきたいと考えております。

2025年度もどうぞよろしくお願いたします。

代表取締役 吉村 健二



築42年中古マンション フルリノベーション 現在販売中 即引渡し可 360°ビュー 内覧可能

2LDK+S 90.2㎡
販売価格 ¥2,380万

「ゆとりある住空間で快適な暮らしを」
いろいろ一段落して、これからの暮らしを
考えているご夫婦向けにプランしました。

ライフスタイルの変化を機会に改めて自分と向き合い、しきり直しの時期かな?と感じている方にはぴったりの設計です。

- フルフラットの広いワンフロア
- 各部屋の設備まわりにはゆとりとした空間を確保
- 帰省した家族や気の合った仲間が気軽に集まれる広いリビング
- シンプルに整理整頓、たっぷりの収納で生活動線もスッキリ!

①メイン LDK
大人数で食卓が囲める、ゆったりした広さが魅力の LDK。キッチンの面材は落ち着いた木目調に床はダークトーンのタイルで仕上げています。折り上げ天井にしつらえた間接照明でさらに落ち着いた大人の雰囲気。リビング入口の扉近くにある飾り棚。思い出の写真やお気に入りのインテリア小物をオシャレに飾りたい!



②和室
フローリング続きの段差なしフラットな床。琉球畳をあしらい、シンプルモダンな空間に。大容量のクローゼットを壁一面に設置し、来客用の寝具などもたっぷり収納可能。

③ゆったりの主寝室+書斎
壁面上部に優しく灯る間接照明でリラックスできる柔らかな空間を演出しています。
大きな窓から朝日をたっぷり浴び、自然を感じられるプライベートルーム。書斎に繋がっており在宅ワークや趣味の部屋に使えます。さらに廊下への動線も確保して生活動線を考えたプランになっています。



④エントランスからクローゼット
玄関の扉からすぐにシューズクローゼットと、大容量のウォークインクローゼットを設けました。さらにここから主寝室へ直接移動できます。

※入れ違いで既に売却済みになってしまう場合があります。ご容赦ください。
※360°カメラで撮影したルームツアーはこちらからスマホで読み取ってください。



「さくら通信」創刊100号なんです〜!



20年前の2005年、吉村社長の手紙を毎月お客さんに送ることからスタートしました。その時々現場小話、お客さんとホノボノ会話のやりとりなどが綴られた A4 用紙1枚。まさに手作り感満載のお手紙です。吉村社長が東京の大手企業を退職し、バックパッカーで1年間、地球を一人旅したあと、(株)さくら前身の「セイビデンキ星田店」に入社。本格的にリフォーム部を上げた頃のことです。
今回、吉村社長といっしょに過去資料を振り返ってみました。(マーケティング部・広報/後藤)

広報担当後藤 (以下後藤): 創刊当時30歳前後やった若い社長の熱い想いが感じられますね、どんな理由で書くことになったのですか?

吉村社長 (以下吉村): 家電しかやってないと思われているお客さんへ、「他にもこんなやってます」とか、お困りごとの例をあげて「こんなケースの解決策これです」といった今で言う『コラム』のような感じで始めました。

後藤: 当時の会社の規模と配布世帯は何件ぐらいでしたか?

吉村: リフォーム部は大工職人さん入れて5人。電気部門のスタッフ

と合わせても現在の3分の1ぐらいの規模やったねえ。お客さんのお宅 1500 件ほどに毎月配っていました。

後藤: こうやってみると「セイビ通信」の頃の表紙は今見ても良いですよね」

吉村: 地球を自分の足で歩いて撮った海外の写真、眠らしておくのはもったいないなあ〜と思って紹介し始めたら、これがまた結構に好評やったんです。

後藤: 毎号、違う国の紹介で。旅行記の抜粋ですよ。その後2010年に「さくら通信」になったんですね。

吉村: 最近は僕も経営者仲間の集まりで社会全体の課題解決を考える機会が増えてきて 20 年前のメッセージを見返すことがあってね。若い頃の自分が、すでに時代を先取りしたような考えを持ってたんや!と、自分でもビックリしたりします。

後藤: さくらの企業理念やミッションは、社長の一人旅体験がベースになってるのは間違いないですね(笑)…ということで、アンケートの特別景品として、貴重なこの本を提供していただけますか?

吉村: ㊗

アンケートのお願い『祝! 100号記念!』
広報担当からの勝手なお願いです!
「さくら推し推し」アンケートにご協力ください。

同封の「アンケート葉書」にご記入したうえ投函していただくか、スマホからこのQRを読み取り Web アンケートにお答えいただくかのどちらかの方法をお願いします。お答えいただいた全員に、さくらオリジナルエコバッグをプレゼント。さらに、ユニークなアイデアを提案いただいた方の中から3名様に、吉村特別賞としてオリジナルスマホ充電器と社長吉村著書「Eye」2005年出版の貴重な海外旅行記の写真集を吉村健二サイン入りにてプレゼント!
強制的に送付させていただきます(笑)
結果発表は次号さくら通信 Vol.101- 夏号にて掲載いたします。



Webアンケートはこちら

著者サイン入り!!
「Eye」プレゼント!

